

開催日時

8/6

13:30~16:00

日

参加費
300円
学生無料

定員 100名

会場 江東区教育センター 大研修室



ヤングケアラーを考える シンポジウム

「ヤングケアラー」は、本来大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもたちのことです。江東区は、今年の1月から2月にかけて「ヤングケアラー実態調査」を実施しました。その結果、小・中学校、高校の各世代でヤングケアラーとして家族のお世話をしている子どもたちが一定数いることが明らかになりました。

ヤングケアラーは家庭内での問題とみなされてしまい、本人や家族に自覚がないといった理由で支援が必要であったとしても表面化しにくい構造となっています。このシンポジウムではさまざまな関係者からの報告と議論により、現状と課題を明らかにして、早期発見や支援体制の整備を考えていきます。

プログラム

1部 基調講演

- ・ ヤングケアラーをとりまく社会課題と現状について
講師 田中 悠美子
- ・ 江東区の現状 実態調査の結果報告
江東区こども未来部 担当
- ・ 当事者の声
藤木 和子（全国障害者と共に歩む兄弟姉妹の会）
星野 桃代（江東区在住 若者ケアラー）

2部 パネルディスカッション（詳細は裏面） 質疑応答&アンケート

講師紹介

田中 悠美子

一般社団法人ケアラーワークス代表理事
一般社団法人日本ケアラー連盟理事
社会福祉士



2012年よりボランティアグループとして活動、2022年2月に子ども・若者ケアラーの交流活動や支援活動を推進するために一般社団法人ケアラーワークスを設立。
ヤングケアラーや若者ケアラーへの相談支援やピアサポート活動、ネットワークづくり、自治体におけるヤングケアラー支援施策の推進や協力、研修の講師派遣を行っている。

お申込み
お問合せ

WEBフォームまたはメールにてお申込みください

江東社会福祉士会 WEBフォームまたはメールにてお申込みください



main@maniwa-nao.com

後援／ 江東区・江東区社会福祉協議会



WEBフォームQR

パネルディスカッション

テーマ：「ケアラーを孤立させない社会を目指して」

コーディネーター：田中 悠美子

パネリスト



藤木 和子

【全国障害者と共に歩む兄弟姉妹の会】

弁護士。聴覚障害のある弟と育った障害児者のきょうだい。

「ヤングケアラー」としての自らの切実な悩みや体験も交えて、さまざまな新しい取り組みを紹介、支援の必要性を訴える。



星野 桃代

【江東区在住 若者ケアラー】

江東区生まれ育ち・在住、社会人7年目の若者ケアラー。

要介護の祖父母を中心に家族のケアをしてきた。現在、社会福祉士養成課程に在籍中。



加藤 重樹

【東京都教育庁ユースソーシャルワーカー】

大学卒業後、家庭裁判所調査官として勤務し2020年退職し、現職に就く。

都立高校を訪問し、生徒の福祉的支援を行うほか、教職員向けヤングケアラー対応電話相談も担当している。

個別相談会のお知らせ

16:30～

別室にてヤングケアラーに関する個別相談ブースを設けます。

江東社会福祉士会所属の社会福祉士が対応します。個人のプライバシーを尊重し、情報の取り扱いは相談者の意向をお聞きしてすすめます。

当事者の方、対象の方の近隣にお住まいの方、地域福祉関係の方、関係機関の方など、どんな内容もお聞きします。お気軽にお立ち寄りください。

会場地図

江東区 教育センター 大研修室

【住所】

東京都江東区東陽2-3-6

【アクセス】

東京メトロ東西線

「東陽町」駅2番出口から南方向へ徒歩3分



広報支援

江東障害者団体連絡会 高齢者関連団体 東京社会福祉士会 NPO法人でいぐらぶ
江東社会的養育を考える会